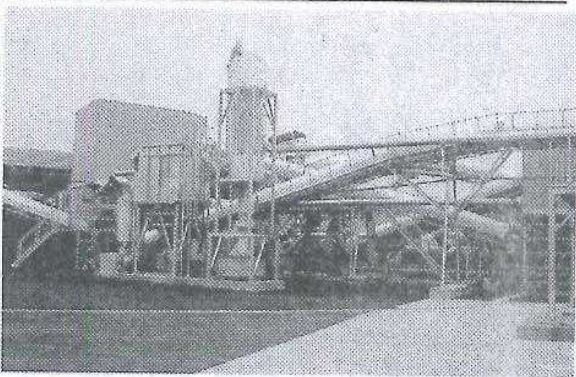


ガラス瓶を造成砂に リサイクル

総合廃棄物処理業のトーエイ(本社知多郡東浦町、今津昭社長)は、緑や青な

トーエイが東浦町に加工施設建設

ど色付き廃ガラス瓶のリサイクル事業を新たに開始した。このほど東浦町に加工施設を建設し写真、本格的な稼働に向け搬入先の拡大および加工製品の普及活動を積極的に進めている。



ガラスリサイクルでノウハウを持つガラス・リソーシング(千葉県銚子市)と

技術提携し、同社の設備に改良を加えた最新設備を東浦町藤江南栄町に建設。処理能力は日量最大400ト。ガラス造粒砂の加工施設としては中部地方で最大規模となる。

加工してできたガラス造粒砂は透水性が高く、地盤

改良工事のパイル砂や管の埋め戻し材、路床材のほか、グラウンドの水はけをよくする暗渠材料などとして利用される。既に国土交通省のNETIS(新技術情報提供システム)に登録されているほか、財団法人日本環境協会のエコマーク商品にも認定されており、高品質なつえ環境にも配慮した製品となっている。

同社では今後、自治体や容器包装リサイクル協会などを通し、安定したガラス瓶の搬入先の確保を目指すほか、行政関係者や建設業者などへ加工した製品のPRなどを行っていく考え。

▽問い合わせ先―電話0562(83)3880。担当、企画開発室 徳島。